

浮田振興センターだより

発行：浮田振興センター

住所：花巻市東和町上浮田2区140

電話：0198-42-1681 (FAX兼)

生涯学習事業 「南部箒(なんぶほうき)」研修会を行いました

去る9月10日(木)に、南部箒を製作から販売まで手掛けている、九戸村の「(有)高倉工芸」へ出向き、視察研修を実施しました。

高倉工芸がつくる箒は、1本1本、製作工程すべて手作りで大変高価となっておりますが、丈夫で20年以上は使えると評判の商品です。

昨年度、箒づくり講習会に参加いただいた方を中心に19名の参加をいただき、昨年より上手に作れないものかと、本場の技術を参考にするため視察してきました。

今の時期は、キビの収穫の最盛期で忙しく、残念ながら箒づくりの実演は見られませんでした。圃場での収穫作業と脱穀作業を見学し、収穫の適期と乾燥について学びました。

参加者から、高い技術力ときめ細やかな作業に感嘆の声があがり、「同じように作ることはできないが、大変、勉強になりました。」と感想がありました。

圃場を見学している様子



作業場を見学している様子



「西和賀町 旧左草小学校」と「横手市 旧浅舞中学校体育館」を見学 浮田小学校跡地活用の研修会を実施しました

去る9月6日(日)に、浮田小学校跡地活用にかかる研修会を、浮田地区コミュニティ会議の役員と地元の下浮田地区の関係者を中心に15名の参加で実施しました。

東和地区の小学校統合が1年繰り上がったことから、平成23年3月には、浮田小学校も閉校することとなり、跡地活用の検討のため、西和賀町の旧左草小学校と、横手市の旧浅舞中学校体育館の2か所を見学しました。

西和賀町の旧左草小学校は、規模が浮田小学校と同じくらいで、自然体験学習を中心に行政と地元運営委員会が連携して取り組んでいます。横手市の旧浅舞中学校の体育館は床を外して土を入れて、冬季間の体力向上のため、ゲートボールや、ゴルフの練習、子ども達のスポーツ振興に活用されております。

より身近な小学校跡地活用を実現するため、みなさまのご意見をお寄せ下さい。

西和賀町
旧左草小学校横手市
旧浅舞中学校
体育館

地域のお知らせ 「カラムシから糸をとる」

毒沢の山本実紀さんから情報提供をいただいた、「カラムシから糸をとる」講習会についてお知らせします。

去る8月9日(日)に、私の知人で神奈川県在住の田中朋也さんを講師にお招きして、「カラムシから糸をとる」講習会を下浮田の工藤勝文さん宅を会場に開催しました。

講習会の内容は、カラムシを使い、アンギン技法という方法で、コースターをつくる講習会です。

参加者は、北は雫石町、南は衣川、大船渡市と花巻市から7名を含む、総勢21名の参加で行いました。

地域に自生しているカラムシから繊維をとって、績ぎ、布を織っていたのは、そんなに昔のことではなく、少し前にはどこでも当たり前のことでした。いま、私たちには、あまりなじみのないカラムシですが、地域にいまもある自然素材を使い、途絶えてしまっているワザを掘りおこすきっかけになればと思つての企画でした。

まずは、素材集め。会場である工藤さん宅の庭や道路脇に自生しているカラムシをそれぞれに選んで採っては、庭のあちこちで皮を剥ぎ、繊維を採る作業をしました。暑過ぎず、時折の霧雨も、からむしの皮を剥くのちょうどよい湿気と、作業するには丁度良い天候で、充実した一日でした。

今回の講習会で、手のしごとは、実際に自分の体で覚え、納得していくことだと改めて思いました。

参加したみなさんが作業を重ねられていくなかで、それぞれのスタイルが生まれていくのを見続けて気づいたことです。そして、こんなにもたくさんの方が「カラムシ」や「アンギン」に関心をもっておられることを知り得たことも、大きな収穫でした。

講習会の様子



講師の田中朋也さん



本来はこちらには東和地区の
慶弔情報を記載しております
が、個人情報となりますので
Web版では表示いたしません。